

令和8年度 軽井沢東部小学校 グランドデザイン

軽井沢町「こぶし教育」

心豊かでたくましい軽井沢の子どもの育成

こ：こころ豊かに

ぶ：ぶんかを育て

し：しぜんを愛する

保護者・地域の願い

- ・小規模校の特性を生かしたアットホームな学校
- ・きめ細やかな支援
- ・地域の財をいかした教育活動
- ・あいさつが響く学校
- ・意欲的に取り組む子
- ・粘り強く取り組む子

学校教育目標

風土に恥じない 爽やかな人になれ
やさしく かしく たくましく

学校長の願い

- 「自分の考えを持ち、自ら行動したり発信したりできる子」
- 「自分だけでなく仲間の良さ、苦手なことも認め、大事にしながら協働できる子」
- 「地域に誇りを持ち、地域の人と積極的に関わり学び、地域から大事にされる子」

重点目標

「自分でつくる・みんなでつくる
わたしたちの学校」

- 【つけない力】
- ① 自らをコントロールする力
 - ② 他者とつながる力
 - ③ 新しいものを創り出す力

目指す学校像

- 子どもを学びの中心においた学校
- 子どもが安心して、楽しく、みんな一緒に学べる学校
- 児童・教職員・保護者・地域の人みんなで創る学校

「異年齢交流」…縦の繋がりの充実

大切にしたい取り組み

「対話」「アウトプット」…横の繋がりの充実

～集団づくり～ 「笑顔いっぱい」

「自分だけでなく仲間の良さを認め、協働できる子」
「仲間のために自ら行動できる子」

- 「対話」の充実
- 「わからない」「教えて」が安心して言える学級づくり
- 異年齢交流活動の活性化

～授業づくり～ 「わくわくしよう」

「自分の考えを持ち、自ら行動したり、発信できる子」
「仲間の考えを聴いて、自分の考えを広げ、新たな問いをたてられる子」

- 「対話」を大切に授業づくり
- 「やってみよう」を大切に学級の充実
- ひとりひとりの学びに寄り添った個別、協働的な授業づくり

～身体づくり～ 「やってみよう」

「自分たちで決め、つくる喜びを味わえる子」
「あきらめずに最後まで、こつこつ取り組める子」

- 自分の学びを自分でつくり出す学習、児童会活動の推進
- 自分と向き合い取り組む活動
- 自ら体を動かし鍛える場

子どもに伴走し、支援する教職員

「対話」「探究」に係わる具体的な職員研修

授業改善と授業の工夫

ICTの活用

学校・地域・外部機関との連携



学校教育目標

やさしく・かしこく・たくましく

～豊かな心で、共に生きる力をもつ中部の子～



【学校目標の具現・3つの柱】

- ・自分も周りの人のことも大切にできる子
- ・自ら学ぶ楽しさを味わい友と学びあう子
- ・心身共に健康に自ら生活を創っていく子

【軽井沢町の願い】

- 「心豊かでたくましい軽井沢の子どもの育成」
 「こぶし教育」(心・文化・自然)
- ㊦ころ: 軽井沢の心の育成(人・物・環境への思い)
 - ㊦んか: 国際親善文化観光都市にふさわしい人材育成
 - ㊦ぜん: 自然を愛し自然環境を守り続ける人材育成

やさしく

自分も周りの人も
大切にできる子

- 1 共に学び合う仲間づくり
 - 子どもと子ども 子どもと職員
のあたたかな関係づくり
 - 実際のできごとを通して
語り合い創っていく過程の重視
- 2 子どもへのあたたかな評価と
保護者との信頼づくり
 - 学習の過程、その子の成長を
認め、丁寧に振り返っていく
 - 地域・保護者と信頼関係を結び、
その子らしさを見つめ育む

かしこく

自ら学ぶ楽しさを味わい
友と学びあう子

- 1 子どもに委ねる
 - 学習の主導権をもつ子どもに
 - 「好き」「楽しい」を探究する学習
- 2 授業改善
 - 個に応じた多様な学び方の研究
 - 探究的協働的な学習の実践
 - 町合同研修・連携をもとにした
授業改善の研修
- 3 専門性を生かした授業実践
 - 「教科担任制」による専門的技量を 生
かした授業実践・児童理解

たくましく

心身共に健康に
自ら生活を創っていく子

- 1 自立心を育む活動
 - 清掃などの日常生活や、行事を
通しての子どもの成長を見つめ、
共に歩む
- 2 心身共に健康な子どもの育成
 - 遊び・体力作りを通して健康作り
 - 個性・命と健康を大切にする教育
- 3 学校生活を自ら創る意識づくり
 - 児童主体の学校行事
 - 児童による生活の問題解決
 - 家庭との連携(食事、運動、メ
ディアコントロール)

学年の「チーム担任」 全職員の「チーム担任」で支える

重点

安心を土台に自分らしく挑戦する子

～一人一人のウェルビーイングの実現のために～

「安心の場づくり」部会

- ・児童が挑戦する土台となる場づくり
- ・その子がいきるインクルーシブ推進
- ・〇〇さんにとっての安心の場とは
- ・PA、学級会、児童会活動の充実

「表現・発信」部会

- ・自分らしい表現・発信を大切に
- ・多様な形態の表現による主体性UP
- ・作家の時間の体験
- ・ICTの効果的な活用

「探究」部会

- ・自分らしく学べる授業改善
- ・自由なアウトプットの場推進
- ・IU CHUBU HARU CHUBU
- ・生活・総合をもっと楽しく

特色ある教育

☆児童主体の学校づくり

- ・児童が進める各種行事
- ・低学年児童も参加する児童会
- ・児童有志による企画・運営
- ・児童による70周年記念行事

☆地域とつながる支援(CS)

- ・熊講習 軽井沢彫り
- ・読み聞かせ スケート学習
- ・クラブ活動支援 カーリング学習
- ・軽井沢での野菜収穫 等

☆軽井沢学

- ・軽井沢の歴史・自然・文化に学ぶ
軽井沢ゼミ
- ・地域の特性を生かしたイメージ教育
教育、英語、国際理解教育



校長が大切にしていること（学校の価値とは…）

- ・子どもは子どもの姿から学んでいく（分かち合う）
- ・子どもが自分の強みと弱みを理解する（自分を知る）
- ・子どもが自分の能力を試し、自分の限界を広げていく

多様な学びの場

- ・子どもが興味を持てるものと出会う数

子どもの意思を尊重

- ・「子ども自身が決める」経験の数

周囲との関わり

- ・前向きな声かけの数

「自分の人生をより良く生きるための方法を学びながら自己実現に向かう場所」

新しい学校のカタチ（構想）

- ・「40分授業午前5時間制」の導入
- ・午後に20分の学校裁量の時間を生み出す
- ・子どもが自分の興味関心のあることを追求する「私の時間（仮）」を設定
- ・放課後の「先生の時間」を確保

これまで		新日課
朝の活動		朝の会
朝の会		1時間目
1時間目		2時間目
2時間目		3時間目
休み時間		休み時間
3時間目	→	4時間目
4時間目		5時間目
給食		給食
昼休み		昼休み
清掃		清掃
5時間目		裁量・私の時間
6時間目		6時間目
帰りの会		帰りの会

学習内容や子どもの意欲に応じた弾力的な授業時間

40分授業

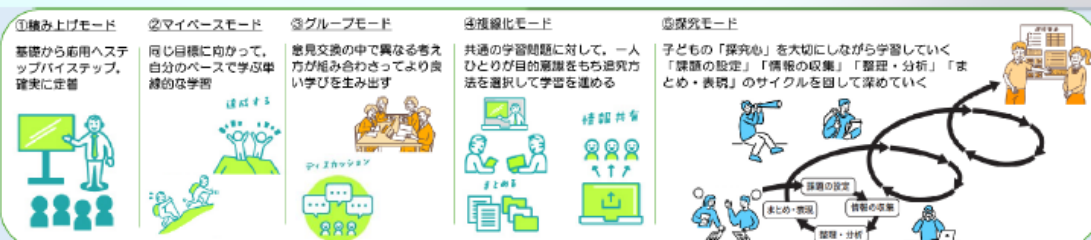
教科等単元学習
教科ごとの
見方や考え方

20分授業

短時間を生かした
多様な学習
アイデア

60分80分授業

じっくり追求
たっぷり追求



【軽井沢こぶし教育】

心豊かでたくましい軽井沢の子どもの育成
こころ豊かに ぶんかを育て しぜんを愛する

【地域の願い】

- ・自然・歴史を活かし、心身共にたくましくなっている。
- ・仲間と共に、見方・考え方も身につけてほしい。
- ・自分から表現する子どもになってほしい。



【校長の願い】

- ・すべての子どもが物語の主人公になれる学校
- ・対話と協力を大切に、みんなでつくる学校
- ・挑戦を大切に、成長し続ける学校

【軽井沢町ICT教育ビジョン】

- ・協力し進める。
- ・自分で学ぶ力をつける。
- ・自己肯定感をさらに高める。
- ・一人一人にあった学び方を追求する。
- ・校務DX化を推進する。

【相談窓口】

校長室 保健室 校長室
保健室 職員室
◎意見箱の設置（昇降口）
◎学校開放（誰でも柔軟に授業の参観）

【学校教育目標】



じぶんでかんがえ みんなでつくる



【目指す子どもの姿】

「自律をめざして探究・共生する子ども」
児童会スローガン「みんなが輝ける西部小」

自律

よさを求め、
粘り強く取り組む子ども

自己決定

自己調整の
ある学び

共生

他者意識→対等性→対話

相手を意識し、対等に向き合い、対話によって学びを深める
～あいてとはじまる学び～

【令和8年度学校づくりの重点】

令和8年度 軽井沢西部小学校 グランドデザイン

自律

～よさを求め、
粘り強く取り組む子ども～

子どもたちに任せ、委ね、創る環境を設定し、主体的に取り組む力の育成。

探究

～自ら問いをもち、考え、
行動する子ども～

- ①子どもたちの興味関心を大切にしながら、答えのない間にも取り組む、探究心の育成。
- ②子どもと教師が共に地域に出て、専心して取り組む、生活科・総合的な学習の時間の充実。
- ③軽井沢のひとやことを知り、自分の夢や得意なことを見つけ、楽しく生きるためのヒントを得る時間の設定。【お仕事ゼミ、ゲスト講師】
- ④自らの興味・関心にもとづいた学びの時間の設定。【個人探究の時間】

共生

～お互いを尊重し、自分や他者を
大切にできる子ども～

- ①自分で判断し、学校生活に主体として参画する力を育む。
- ②対話を通じた合意形成の場の設定。
- ③地域や保護者との横のつながりを通して、夢をもち、ふるさとや母校を愛する心の育成。【軽井沢学・軽井沢ゼミ】

軽井沢中学校グランドデザイン

軽井沢町教育目標 「こぶし教育」(こ): 心豊かで (ぶ): 文化を育て継承し (し): 自然を愛す

学校教育目標

「知力と体力にあふれ、心身ともたくましい、心豊かな生徒の育成」
～ すてきな軽井沢人になろう ～

生徒の実態

- 素直で明るく、発信力がある。
- プラスの言葉がけに意欲的に取り組む。
- 多様性を受け入れられる
- 積み重ねることがやや苦手。

願う生徒の姿

- 周りのひと・もの・ことに心を寄せられる。
- 困難に対して自ら考え解決しようとする。
- 互いの人格を尊重し、共に高め合う。

学校長の願い

- 安心して生活でき、所属感のある学校
- 自分の力を伸ばせる魅力ある学校
- 生徒、地域、職員で創りあげる「軽井沢中」
- 軽井沢のよさを生かした教育の充実

保護者の願い

- 確かな学力と豊かな人間性
- 健康でたくましい心と体
- 安心・安全で信頼できる学校

学ぶ力を高める

- 「自ら学び、友と学び合える生徒」
- 1 意欲を引き出す授業づくり
探究を意識した授業構想・展開
学習問題・課題の吟味
 - 2 友と共に学びを深める授業
生徒が自走、教師が伴走する学び
 - 3 振り返りを大事にした授業改善
 - 4 アウトプットとインプットのバランスを考えた授業づくり
 - 5 ICT機器の有効的な活用
 - 6 職員相互に高め合う授業研修

軽井沢学

- ・疑問や課題に対して、自ら探究していく学び。(探究のスパイラル)
- ・ふるさと軽井沢を知り、触れて感じて考えて、誇りをもつ学び
- ・地域や他校種への発信(アウトプット)の場合を設け、学習を深める

道徳教育・キャリア教育の充実

- ・見通しをもった指導計画の作成
- ・職場体験学習において、職業観の形成と生き方を考える

生徒会

- ・自ら考え、実行できる活動の充実
- ・全校生徒で創り上げる生徒会
- ・役割や責任がもてる場づくり

重点目標
「人間力の向上」
・想像力を働かせる場の充実
・軽井沢に学ぶ場の充実
・生徒に任せる場の充実
・自ら学び、関わり合いから深まる学習

【重点活動】
1 あいさつ
2 清掃
3 合唱
4 自ら学ぶ、友と学ぶ

安心・安全の学校づくり

- ・交通安全の指導の充実
- ・発達障がい、LD 等通級指導教室等の職員理解研修
- ・感染症等防止対策の徹底

生徒理解・生徒指導・学級指導

- ・一人一人の確かな生徒理解
- ・生徒の心に寄り添う生徒指導
- ・ピンチは、チャンス
- ・外部機関との連携、ケース会議
- ・教育相談や家庭との連携の充実
- ・安心できる学級集団づくり
- ・仲間を大事にできる生徒の育成
- ・自己存在感、自己有用感の伸長
- ・オープンドアスクールのコンセプトを取り入れた学校づくり

小中高連携・交流

- ・小学校、風越学園、UWC ISAK JAPAN との交流、軽井沢高校との交流・連携の充実
- ・姉妹都市カダウイスラ市、
- ・様々な国の文化や歴史の理解、体験

家庭地域との連携

- ・情報発信(学校だより、学年だより、Web)
- ・PTA作業、放課後学習
- ・軽井沢学を通じ、地域とのつながりを深める
- ・よりみちカフェ等を通じた連携